遊戯王 OCG
日本選手権 2026(チーム戦)
大会罰則規定

2026.04.24 適用

１．罰則の種類

A：注意

- 注意は、その行為が大会規定等に抵触することをプレイヤーに伝えることを目的とする。

B：警告

- 警告は、その行為が大会規定等に違反していることをプレイヤーに伝えることを目的とする。
- ジャッジはその行為が悪質であると判断する場合、より上位の罰則を適用することができる。

C：デュエルの敗北

- この罰則が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のデュエルに敗北する。
- デュエルとデュエルの間に違反した場合は、次のデュエルに適用する。
- ジャッジはその行為が悪質であると判断する場合、より上位の罰則を適用することができる。
- デュエルの敗北は公式に記録される。

D：マッチの敗北

- この罰則が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のマッチに敗北する。
- マッチとマッチの間に違反した場合や、すでに敗北が決まっているマッチで違反した場合には、ジャッジの判断で次のマッチに適用することができる。
- ジャッジはその行為が悪質であると判断する場合、より上位の罰則を適用することができる。
- マッチの敗北は公式に記録される。

E：失格

- この罰則が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のマッチに敗北、大会失格となる。
- プレイヤーが失格前に獲得していた賞は、そのまま受け取ることができる。
- 失格は公式に記録される。

F：受賞資格を失う失格

- この罰則が適用された場合、そのプレイヤーは進行中のマッチに敗北、大会失格となる。
- プレイヤーが失格前に獲得していた受賞資格も失われる。
- 受賞資格を失う失格は公式に記録される。

2. 罰則の適用

- 本規定は指針であり、ジャッジは情状を酌量して罰則を軽減もしくは追加できる。
- 同一の違反を繰り返した場合、ジャッジはより上位の罰則を適用できる。
- 罰則はジャッジの判断によってのみ適用される。参加者や第三者が罰則の適用及び適用された罰則に対する不足をジャッジに要求することは認められない。
- 罰則の適用の要求が過度に行われた場合には、その行為に対してジャッジは罰則を適用する場合がある。

３．デッキに関する違反

A：デッキに関する違反

・デッキが 40 枚未満である

罰則：デュエルの敗北

デッキに適正なカードを追加し 40 枚に直す。

・デッキ（サイドデッキを含む）に同一カードが 4 枚以上含まれている

罰則：デュエルの敗北

デッキから不適切なカードを取り除き、かわりに適正なカードを追加、元の枚数に戻す

・デッキ（サイドデッキを含む）に使用できないカードが含まれている

罰則：デュエルの敗北

デッキから不適切なカードを取り除き、かわりに適正なカードを追加、元の枚数に戻す。

・デッキ（サイドデッキを含む）に制限を越えた枚数の「禁止・制限・準制限カード」が含まれている

罰則：デュエルの敗北

デッキから不適切なカードを取り除き、使用するデッキを適正な状態に正す。

B：デッキリストに関する違反

・デッキリスト内容とデッキ（サイドデッキを含む）内容が異なっている

罰則：受賞資格を失う失格

４．ルールに関する違反

・故意ではなく、ルールを誤解したプレイをした

罰則：注意

この違反の後、次の重大な判断が行われる前であるとジャッジが判断した場合であるならば、ゲームを元の状態に戻す。

この違反の後、すでにゲームが進行し、重大な判断が行われた後の場合、または、重大な判断が行われた後であるとジャッジが判断した場合には、ゲームはそのまま進行する。使用したカードは墓地へ置く。（墓地へ置いたことによって、効果の発動や処理は行わない。）

・故意ではなく、過剰にカードを引いた

罰則：警告

この違反のあと、次の重大な判断が行われる前であるとジャッジが判断した場合であるならば、過剰に引いたカードをデッキに戻しシャッフルする。

この違反のあと、すでにゲームが進行し、重大な判断が行われた後の場合、または、重大な判断が行われた後であるとジャッジが判断した場合には、過剰に引いた枚数分だけ無作為に手札からカードを選んでデッキに戻しシャッフルする。

・故意ではなく、過剰にカードを見た

罰則：注意

見てしまったカードを適切な場所に戻す。（デッキのカードであった場合、デッキをシャッフルする。）

・ルールやカードの効果によらず、故意に手札などの非公開情報となるカードなどを相手に公開した

罰則：警告

・故意に、ルールに違反したプレイをした

罰則：受賞資格を失う失格

主な不正行為の例

◆カードのシャッフル・カット時に自分・相手プレイヤーのカードを故意に見る　罰則：受賞資格を失う失格

◆故意に必要以上のカードをドローする　罰則：受賞資格を失う失格

◆故意にカードテキストについて嘘をつく　罰則：受賞資格を失う失格

◆故意にライフポイント、手札の枚数などについて嘘をつく　罰則：受賞資格を失う失格

◆自分、または相手のデッキの内容を事前に操作したり、その場で操作する　罰則：受賞資格を失う失格

◆自分の体の一部や物を使ってフィールド上、または手札のカードを意図的に隠す　罰則：受賞資格を失う失格

◆勝利の譲渡等不正な試合全般　罰則：両方のプレイヤーが受賞資格を失う失格

５．遅刻

・指定の集合時間に大会毎に決められた条件を満たしていない。

罰則：デュエルの敗北

開始時間に対戦席についていない場合、デュエルの敗北を適用する。

・指定の集合時間後５分経過しても、自分の席についていなかった。

罰則：マッチの敗北

６．裏の状態で区別のつくカードの使用

・規則性がない場合

罰則：注意

カードスリーブ・プロテクターを交換するなど、区別のつかない状態にする。

・規則性がある場合

罰則：失格

７．不必要に長い時間をかけたプレイ

・故意ではなく、不必要に長い時間をかけたプレイをした

罰則：注意

この違反により、マッチの結果に影響があったとジャッジが判断した場合、ジャッジの判断により罰則が追加される場合がある。

・故意に、不必要に長い時間をかけたプレイをした

罰則：マッチの敗北

一例：「１ターン中に何度もカードテキスト確認を要求する」「毎ターン、何度も自分の墓地やエクストラデッキのカードを確認する。また、相手の墓地のカードの確認を過剰に要求する」「一手一手に長時間思考を要求する」「対戦中に不必要なルールの確認を何度も求める」など。

８．不適切な対戦結果の決定

・故意に、自らの対戦結果に対する罰則の適用をジャッジに要求した。

罰則：デュエルの敗北

・対戦を行わず、ジャンケンなど無作為な方法で勝敗を決定した。

罰則：失格

・ルールやカードの効果などで定められていない方法で、対戦を行わずに勝敗を決定した。

罰則：失格

・金銭などメリットの提供を約束し、対戦結果を操作した。

罰則：受賞資格を失う失格

・故意に、途中棄権した。

罰則：マッチの敗北

９．詐欺行為

・対戦結果を偽って報告した

罰則：受賞資格を失う失格

・他人になりすまし、報告した

罰則：受賞資格を失う失格

・他人になりすまし、大会に参加した

罰則：受賞資格を失う失格

１０．デュエル中の私語

・デュエル中他のプレイヤーまたは観戦者等の第三者にアドバイスを受けたり、ルールを確認した

罰則：警告

会話、電子・通信機器等の使用といった手段は問わない。

この違反により、マッチの結果に影響があったとジャッジが判断した場合、ジャッジの判断により罰則が追加される場合がある。

・デュエル中他のプレイヤーまたは観戦者等の第三者に話しかけた

罰則：警告

この違反により、マッチの結果に影響があったとジャッジが判断した場合、ジャッジの判断により罰則が追加される場合がある。

・プレイヤーの応援者が相手プレイヤーに対して「せかす」・「罵倒する」等の行為を行った

罰則：警告

プレイヤーの応援者の行為もプレイヤー自身の行為としてみなす。

この違反により、マッチの結果に影響があったとジャッジが判断した場合、ジャッジの判断により罰則が追加される場合がある。